

日本植生史学会ニュースレター

No.53 October 5, 2020

第35回日本植生史学会大会のご案内（最終報）・学会ニュース

第35回日本植生史学会大会のご案内（最終報）

第35回日本植生史学会大会を下記の要領で開催します。今大会はオンラインによる変則的な開催のため、予定外の変更が行われる可能性があります。会員の皆様には学会ホームページ上の大会案内の告知にご注意いただく様に重ねてお願い申し上げます。

第35回日本植生史学会大会ホームページ

<http://hisbot2020.main.jp/>

◆ 日時

2020年10月24日（土）ポスター・講演要旨集の大会ホームページへの掲示

2020年10月26日（月）午後：評議員会

2020年10月28日（水）～30日（金）17～19時：Zoomへの接続テスト、

2020年10月31日（土）9時開始：一般研究発表（口頭・ポスターセッション）、総会、奨励賞記念行事、懇親会

◆ 大会参加申し込み方法

大会ホームページ（<http://hisbot2020.main.jp/form/>）にリンクされている『申し込みフォーム』に以下の事項を記入しお申込み下さい。

氏名・所属、②連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス）、③会員種別（一般会員／学生会員／シニア会員）、④懇親会の参加／不参加。

◆ 大会参加申し込み締め切り、講演要旨、ポスター提出期限

大会参加申込・懇親会申込締め切り：10月18日（日）（延長しました）

講演要旨提出締め切り：10月10日（土）

ポスター提出期限：10月17日（土）

◆ 参加費：無料。ただし、参加するためには事前登録が必要です。

- ◆ 参加資格：会員のみ。今回に限って非会員の参加・発表はできません。

参加をご希望の方は学会ホームページの入会案内 (<http://hisbot.jp/about/regist>) に従ってご入会ください。

- ◆ 開催方法

2021年度の大会はすべてオンラインで行います。大会を開催する Zoom (Web 会議サービス) の URL を 10 月 27 日にメールで参加登録者にお知らせします。Zoom への接続・利用方法は大会ホームページを参照してください。

<http://hisbot2020.main.jp/yokou/201-2/>

Zoom アプリケーションをインストールされていない場合は、前もって下記の Zoom ダウンロード・センターにアクセスして無料サインアップを行い、インストールを行ってください。Zoom に接続する URL をお知らせした上で、10 月 28 日から 3 日間 Zoom への接続テストができるようにします。口頭発表や総会の質疑応答は、Zoom 画面の下にあるチャット機能 (名前を入力, 座長が指名後に発言) を利用し、ポスター発表は大会ホームページ上のコメント機能を利用します。

講演要旨は PDF 版のみとし、大会ホームページに掲示します。大会ホームページへのアクセスのためのパスワードを 10 月 24 日に参加登録者にお知らせします。

総会は事前に総会資料を大会ホームページで閲覧できるようにしたうえで、当日は Zoom で質疑応答と議決を行います。議決は挙手機能 (Zoom 画面の下の「参加者」→「手を挙げる」) を利用します。

奨励賞記念講演や懇親会も Zoom にて行います。

- ◆ 参加申し込みや要旨作成, オンライン接続などに関するお問合せ:

大会実行委員会 (taikai35@hisbot.jp) までお願いします。

大会実行委員:百原 新 (委員長), 矢部 淳, 若杉糸絵, 工藤雄一郎, 那須浩郎, 林 竜馬, 真邊 彩, 浦 蓉子

- ◆ **大会プログラム**

2020 年 10 月 31 日 (土) 一般研究発表 (口頭・ポスター), 論文賞記念講演, 総会

9:00-9:30 口頭発表 A 「生態, 古生態, 環境変動」

9:30-9:45 口頭発表 C 「分類・系統, 生物地理」

10:00-11:45 口頭発表 B 「人と植物の関係史」 (10:45-11:00 休憩)

12:00-12:30 総会

12:30-13:30 昼食

13:30-15:30 ポスター発表

15:40-16:10 奨励賞受賞記念講演

17:30-19:30 懇親会

口頭発表 A 「生態, 古生態, 環境変動」

O-01 9:00-9:15 「三木茂博士採集標本に基づく東京都江古田針葉樹層の形成年代とフロラの再検討」

○百原 新・工藤雄一郎・門叶冬樹・塚腰 実

O-02 9:15-9:30 「日本の潜在自然植生におけるスギの位置づけについて」

小椋純一

口頭発表 C「分類・系統, 生物地理」

O-03 9:30-9:45 「前期更新世クロサイワイタケ科 (Xylariaceae) 菌類化石の形態分類と古環境指標としての有用性」

○菊地達郎・百原 新・阿部恭久・糟谷大河

9:45-10:00 休憩

口頭発表 B「人と植物の関係史」

O-04 10:00-10:15 「対馬島志多留湿原における朝鮮半島との人間の交流史最初期以降の花粉分析」

○野井英明・志知幸治・内山 隆

O-05 10:15-10:30 「千葉県道免き谷津遺跡・雷下遺跡の出土木材からみた縄文時代早期および後・晩期の森林植生と森林資源の管理と利用」

能城修一

O-06 10:30-10:45 「縄文時代出土土器圧痕から見た鱗茎利用」

○佐々木由香・米田恭子・山本 華

10:45-11:00 休憩

O-07 11:00-11:15 「X線機器による福岡県江辻遺跡 SX-01 出土土器の圧痕調査成果」

小畑弘己

O-08 11:15-11:30 「ツルマメとヤブツルアズキの栽培実験—縄文時代の大型マメは何故大きくなったのか?—」

○那須浩郎・山田昌久・高田秀樹・佐野 隆・山口譲治・渡辺淑恵・菅野紀子・加藤早百合

O-09 11:30-11:45 「考古植物学者よ、採集と農耕の間には貴方の思いも及ばぬことがまだまだあるのだ」

山田昌久

11:45-12:00 休憩

12:00-12:30 **総会**

12:30-13:30 休憩・昼食

13:30-15:30 **ポスター発表**

(コアタイム 13:30-14:30 奇数番号, 14:30-15:30 偶数番号)

ポスター発表 A「生態, 古生態, 環境変動」

P-01 「大隅半島中部における植物珪酸体分析に基づく過去約3万年前以降の植生変遷の復元」

○林 尚輝・井上 淳

P-02 「北海道東部茨散海岸泥炭層の大型植物化石から復元した約6500年前以降の湿原植生の変遷」

○高嶋 恵・百原 新・近藤玲介・植村杏太・宮入陽介・横山祐典・富士田裕子

P-03 「ツクバネガシの花粉粒生産量」

清永丈太

P-04 「累積性土壌の花粉分析による植生復元—植物珪酸体や湖沼花粉分析結果との比較」

○吉田保裕・井上 淳・林 竜馬

ポスター発表 B「人と植物の関係史」

P-05 「宮古島における土器圧痕調査の成果と穀物利用」

○真邊 彩・千田寛之・久貝弥嗣・小畑弘己

P-06 「炭化種実検出のための効率的な土壌水洗法—中屋敷遺跡の土壌を用いて—」

○中山悠那・佐々木由香・小泉玲子

P-07 「圧痕レプリカ法を用いた編みかごの復元—縄文時代中期の金子台遺跡・弥生時代前期の中屋敷遺跡の土器敷物圧痕から—」

○淵 真琴・佐々木由香・小泉玲子

P-08 「土器圧痕からみた縄文時代のシソ属果実」

○山本 華・佐々木由香・能城修一

15:30-15:40 休憩

15:40-16:10 奨励賞授賞式および受賞記念講演

赤司千恵

17:30-19:30 懇親会

学会ニュース

● 会費納入のお願い

2021年度の会費納入にご協力ください。

日本植生史学会会費(2010年度より) 一般会員:6,000円・学生会員:3,000円・シニア会員:3,000円・団体会員:

8,000 円・賛助会員：一口 20,000 円とし一口以上とする。

会費納付先：郵便振替口座 00980-8-70087 加入者名 日本植生史学会

● 異動・所属変更に伴う会員情報変更のお願い

学生会員及び一般会員の方で、異動、所属変更等がある方は、以下の日本植生史学会事務局にご連絡ください。

事務局：

- 連絡・問合せ 庶務幹事 村上由美子 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合博物館
TEL：075-753-3279 庶務：hbmain@hisbot.jp 会誌投稿：journal@hisbot.jp
- NL編集 ホームページ・企業広告問い合わせ 広報・渉外幹事 西内李佳 広報・渉外：hbnews@hisbot.jp
- 入会・異動・退会の申し込み、バックナンバーの購入、メーリングリストアドレスの登録・変更、NL発行
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル 株) 春恒社 学会事業部内
日本植生史学会事務局
Tel：03-5291-6231 Fax：03-5291-2176 Mail：hisbot-office01@shunkosha.com
- 学会ホームページ <http://hisbot.jp/>